

英語教育 実技・理論 研修会 終了報告

テーマ	ペア&グループワークで組み立てる4技能統合型の授業	
日時	令和元年8月9日(金)	
会場	野幌公民館	
講師	<p>西林 慶武 氏</p> <p>(苫小牧市立緑陵中学校)</p>	
参加者	22名	
研修会 の 様子		<p>講師の西林先生は、生徒の活動を中心とした授業を組むことで生徒の英語力を向上させています。特にペアワークとグループワークを重視され、4技能をバランスよく高める活動と4技能の重なりを利用する活動の指導方法を示してくださいました。</p>
		<p>カルタを活用した活動では、その学習効果だけではなく、指導上注意しなければならないポイントや、さらに力をつける工夫についてお話してくださいました。例えば、グループ間による時間差をなくす方法、ただカルタをとるのではなくスピーキングを交えた方法、苦手な生徒が目立たない方法など、です。</p>
		<p>理論研修であることも踏まえ、ペアワークやグループワークの効果について科学的な根拠も示してくださいましたので、より深く学ぶことができました。</p> <p>西林先生は、「ペアワークの活動プロセス、それぞれの段階の意義やねらいを教師がしっかり意識することで、生徒たちは活動に対して不安を感じることなく、自ら意欲的に活動に取り組むようになる」と強調されていました。</p>
		<p>英語教師が関心を持っている教科書の扱い方とVisualizing(聞いた英語をイラスト化し、そこからスピーキングやライティングにリンクさせる活動)について提案していただきました。また参加者どうしが生徒役となり実際にペアワーク方法を模擬体験しました。</p>